

## 米国カリフォルニア州 柑橘類の最近の状況

[FreshPlaza](#) 2025年5月1日

カリフォルニア州の柑橘類生産者達は、天候に恵まれた柑橘類シーズンを振り返っている。オレンジ、マンダリン、レモンの栽培、梱包、出荷業者であるヘブンリーシトラス社のダニエル・ロドリゲス氏は、「重大な天候問題は報告されていない。数日間雨が降り、収穫が遅れた。しかし、雨は果実に良い影響を与え、被害は何もなかった」と話す。(以下「」は同氏の話)

**ネーブルオレンジ** 5月の第1週時点で、ネーブルオレンジの供給量は非常に少なくなっている。「今シーズンの最後の収穫が今週の金曜日、5月2日に始まるため、出荷量は1カ月以内にほぼゼロになると予測している。」5月の最終週もしくは6月の第1週まで、限られた量の供給が続くと予想される。

**バレンシアオレンジ** 一方、バレンシアオレンジの供給量は豊富である。「しかし、糖度はまだ上がっていない。糖度が最適なレベルになるまでには、さらに約4週間かかるかも知れない。」果実のサイズは小さめで、入り数113~168の範囲が多い。

オレンジの引き合いは旺盛だが、これはネーブルオレンジの供給量の減少と、甘くてサイズの大きいバレンシアオレンジの出荷量が限られている結果である。このため価格が着実に上昇し、大幅な上昇傾向を示している。

**マンダリン** マンダリンの出荷量はさらに増えているが、品質が低下し始めており、その結果、需要は横ばいである。「適切な施肥を行った経験豊富な生産者は、5月末まで持ちこたえることができる。一方、経験の浅い生産者は、今後数週間で果実の減少を目にするだろう。」シーズン終了までの数週間、品質と出荷量の低下により、マンダリンの価格は徐々に上昇する。

**レモン** レモンに関する最新情報は、それほど楽観的ではない。ほとんどの果実は第1地区(セントラルバレー地域)から出荷されているが、品質は劇的に低下しており、価格は12月初旬から低迷している。「低価格は、市場価格に影響を与えている輸入品との競合の結果である。低品質と低価格の組み合わせにより、供給業者は損益分岐点以下の価格で販売している。そのため、多くの生産者は、果実を樹上に残して自然落果に任せるか、搾汁施設に送ることを選択している状況にある。」

**他の地域との競争** この時期は、世界の他の柑橘類産地との競争が比較的少なくカリフォルニア州にとって有利な時期であるが、今年の初めには状況が異なった。「1月と2月にはモロッコ産との激しい競争に直面し、港湾市場が飽和状態になり、レモンとマンダリンの販売に影響を与えた。」同社は、カリフォルニア州だけで柑橘類を栽培し、同州から中西部、東海岸、中南部の地域にまたがる国内市場で流通させている。

**夏の販促活動** ロドリゲス氏は、同社の夏の柑橘類販促キャンペーン『創造力を解き放とう』を発表できることを喜んでいる。この取組みは、夏の終わりの収穫物の鮮やかな風味で消費者の食体験を向上させるように仕組まれている。「今年の夏のシーズンには、プレミアムな晩夏のネーブルオレンジ、ジューシーなバレンシアオレンジ、それにレモンを自信を持って供給することとしており、その用途の多様性を披露できることを嬉しく思う。また、5月末まで高品質なマンダリンの提供を続ける。」同社はこのキャンペーンで、オンラインとパッケージを用いたブランド展開と物語性のある訴求を通じて、創造性を爆発的に解き放つことを目指している。「柑橘類は、夏の期間を通して、料理の探求と楽しい瞬間を得る触媒になると考えている。」

**人工知能** 同社の社内では、農作業の最適化から販売戦略の強化までの事業全体で、先進的な人工知能(AI)を戦略的に導入している。「消費者の関わりと技術革新において新たな時代を迎える中で、弊社はダイナミックなチームとして、柑橘類のブランド展開の最前線に身を置き、大きな違いを生み出すことに力を入れている。品質へのこだわりと、AIを活用した先を見越したアプローチにより、新しく有意義な方法で消費者との繋がりを築くことができると確信している。」

執筆者: マリーケ・ヘムズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)